

令和7年度 第4回全国健康保険協会静岡支部評議会及び健康づくり推進部会
議事録

開催日時：令和8年3月11日（水）10：00～12：00

開催場所：全国健康保険協会静岡支部会議室

出席者：池ヶ谷評議員、川田委員、榊原評議員、佐野評議員、藤本評議員、
細田評議員、溝田委員、望月評議員、森藤評議員、山田評議員（五十音順）

議 事：第4回評議会

1. コミュニケーションロゴ・タグラインの導入について
2. 令和8年度協会けんぽ静岡支部保険料率、事業計画及び保険者機能強化予算について

健康づくり推進部会

1. 協会けんぽ静岡支部における保健事業の取組状況
2. 協会けんぽ静岡支部の被保険者における新規人工透析導入者の背景について
3. 令和7年度健診当日の禁煙指導（ABR）による禁煙外来紹介業務委託中間集計
4. 加入者の健康づくりに関する協会けんぽ静岡支部の取組状況

○議事の経過

第4回評議会

1. コミュニケーションロゴ・タグラインの導入について
資料1に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

コミュニケーションロゴを初めて見せてもらったが、協会けんぽという文字だけよりもロゴがあることで親しみやすくなり、目的通りに使用されて、加入者に届きやすいロゴだと思う。ロゴはキャッチーであることが求められるが、コミュニケーションロゴはとても分かりやすい。非常に見やすくよい印象を受けたので、今後活用されることを期待している。

2. 令和8年度協会けんぽ静岡支部保険料率、事業計画及び保険者機能強化予算について
資料2に基づき、事務局より説明。

評議員からは特に意見、質問等なし。

健康づくり推進部会

1. 協会けんぽ静岡支部における保健事業の取組状況

資料1に基づき、事務局より説明。

〈部会委員〉

自身も昨日人間ドックを受診し、近日中に再検査を受ける予定である。0次勧奨についての内容を知りたい。

新規事業として集団健診を浜松市で開催予定とあるが、なぜ他の市町ではなく浜松市になったのか。

令和9年度から被扶養者を対象とした生活習慣病予防健診・人間ドック検診の補助が開始することは非常に良いことだと思う。金額的に受診を避ける加入者も多いと思うので、受診率向上につながる良い機会だと思う。

(事務局)

勧奨対象者については資料P36に記載の通りに実施している。検診車での実施だと施設内と比較し受診者へのフォローが難しい。その場で数値が出る血圧は今年度の結果を採用し、血糖値及びコレステロールについては昨年度の数値を採用し、受診勧奨を行っている。

集団健診は新規事業のため集客の見通しが立たないが、人口が多く会場の確保が整うことから浜松市での開催を考えている。令和8年度の事業成果を踏まえ、令和9年度以降の開催市町等検討していきたい。

〈部会委員〉

勧奨は、受診しましたかではなく受診してくださいという働きかけの方が良いのではないか。

(事務局)

受診有無だけでなく未受診理由の確認や、生活習慣を振り返る時間を設け、生活習慣の改善・必要性を感じてもらえるような方法をとっている。

〈部会委員〉

受診勧奨のやり方によっては、案内を受け取った本人が責められていると感じてしまうこともある。あなたの健康のために受診してくださいといった働きかけであるべきだと思う。

子供の健康教育に取り組んでいることは良いと思う。今後健康教育の場において

痩せについても取り入れて欲しい。小学1年生で女子の35.5%、男子の25.1%に痩せ願望があり、女子の19.8%、男子の12%が実際にダイエットをしている。これが小学6年生になると、女子の約50%、男子の約30%に痩せ願望があり、女子の33%、男子の18.8%が実際にダイエットをしているという調査結果がある。教育現場では痩せに対応することが求められているため、肥満ではなく痩せに焦点を当てた授業を実施した方が、教育現場のニーズにこたえられるかもしれない。

重症化予防の新規事業の中に、健康度を上げたいもののやり方がわからない事業所を公募するとあるが、この方法で広報をしてもなかなか集まらないと思う。人手不足・労働力不足で悩んでいる事業所に対して、健康度を上げるだけでなく経営状況の改善に繋がるデータを示し、健康経営の観点から支援をしますよという切り口で募ってみてはどうか。

(事務局)

伺ったことを参考に今後の事業を展開していきたい。

〈部会委員〉

全体的にきめ細やかな取組であると思う。

事業者健診データの取得率が伸び悩んでいることについて、事業者健診データがどう活用されているか、全国平均と比較した立ち位置について認識している事業所が少ないと思う。これらの気づきになるような示し方をすれば、事業所の理解も得られ取得率向上に繋がるのではないか。

特定保健指導の実施率向上に向けて、健康経営宣言をしている事業所を訪問することは有効的だと思う。令和7年度の実績はどうだったのか、アプローチ方法含め教えてほしい。

(事務局)

事業者健診データ取得の際は、特定保健指導を提供できることを示している。ご意見いただいたように、データ提供により事業所の健康度や喫煙率がわかるようになることもメリットの一つとして、勧奨していきたい。

事業所訪問の令和7年度の実績については今すぐにお示しできない。以前特定保健指導を実施していた事業所へ訪問し、再度特定保健指導の利用開始につながった事業所もあるため一定の成果は得られたと思う。今後集計して結果をお示ししたい。

〈部会委員〉

新規事業が非常に多岐にわたっていて良いと思う。中でも、人間ドックについては広報の方法が非常に重要になってくる。一定の項目を網羅した人間ドックとあるが、一定の項目とは何か教えていただきたい。

0次勸奨について、可能であれば健康意識の高い健診当日に、医師による健診結果の振り返りの時間を設けていただければ効果的だと思う。

(事務局)

代謝系の尿糖・尿酸・総たんぱく・アルブミンといった検査項目がプラスされた内容になっている。後ほど詳細な項目がわかるものをお示ししたい。

〈部会委員〉

私たちが具体的な検査項目を見てもわからない。受診時の金額や容易性について教えてほしい。

(事務局)

金額については、協会けんぽが25,000円を補助し、それを超えた分については自己負担となる。受診するメリット等を含めた広報を作成し、受診勸奨をしていきたい。

〈議長〉

金額については健診機関によって様々なようだ。随時情報提供して欲しい。

〈部会委員〉

令和8年4月以降の健診に関するチラシについて、自己負担最高〇〇円という表現はあまり印象が良くないと思う。補助金額を示すのが難しいようであれば、補助があるから自己負担最大でも〇〇円で受診できますよという表現にした方が、受診者のイメージは良くなると思う。

(事務局)

スペースがあるようであれば、円グラフ等を用いた視覚的にわかりやすい広報をしていきたい。

〈部会委員〉

数字については見せ方が重要、事実をただ伝えるだけではなく工夫してほしい。

2. 協会けんぽ静岡支部の被保険者における新規人工透析導入者の背景について資料2に基づき、事務局より説明。
3. 令和7年度健診当日の禁煙指導（ABR）による禁煙外来紹介業務委託中間集計資料3に基づき、事務局より説明。

〈部会委員〉

人工腎臓導入後の退職者の状況について、資料 P6 に示されている円グラフは退職者全体の内の年代別割合を示している。これだと資料 P5 の新規人工腎臓導入者の年代別内訳の円グラフと同じような結果に見えるため、人工腎臓導入＝退職者が増えるというイメージになってしまう。年代別にグラフを分けて人工腎臓導入者の退職者割合を示したほうが、効果的だと思う。

禁煙指導に関して、配布されたチラシ（『たばこはなぜ悪い？』）は使用しないほうが良い。喫煙者は、たばこのデメリットを知ったうえで喫煙しているため、このチラシだと責め立てられているようで改善に繋がりにくい印象を受ける。禁煙は、個人の努力に委ねられるものではなく、依存症の治療として専門家のサポートを受けることができるというアプローチに改善してほしい。

（事務局）

今後の資料作成の参考にさせていただきたい。

〈部会委員〉

禁煙に個人の力で取り組むことはなかなか難しいと聞いたことがある。医師の力を借りて禁煙に取り組むことを積極的に促進してほしい。

（事務局）

昨年 11 月から飲み薬が再開したことも含め、各機関へ治療促進をアピールしていきたい。

〈部会委員〉

人工腎臓導入による退職者がこれだけいることは深刻な事態だと思う。将来のリスクを踏まえた受診勧奨をしていただきたい。

禁煙は個人の力ではどうにもならないということを実感している。生活困窮者でもたばこ代に毎月数千円使用している人もいる。金銭的にたばこを購入するよりも禁煙治療の金額の方が安いことや、ニコチンパッチの使用感について広報していくと効果的だと思う。

（事務局）

産業保健センター等と連携した支援体制を構築し、退職者の抑制に繋がってほしい。

たばこを購入するよりも禁煙治療の金額の方が安いというデータがあるため、今後の広報に取入れたい。

〈部会委員〉

禁煙指導はなかなか結果につながりにくいと思うが、引き続き取組んでほしい。

資料 P3 に腎不全になる背景について示されている中で、睡眠による休養が取れていないことが記載されていた。富士市は、工場労働で勤務が不規則なことによるストレスが原因であることが挙げられると思う。県内でも眠活によるメンタル対策が重要視されているため、睡眠にフォーカスしたアプローチをしてみてもどうか。

(事務局)

協会けんぽでも睡眠に関するリーフレットを作成しているため、今後活用していきたい。

〈部会委員〉

自身の会社では、禁煙に成功した従業員・もともと喫煙しない従業員に対して健康推進手当を導入している。会社として健康に取り組む姿勢を示すことが効果的だと思う。

(事務局)

健康宣言通信等を利用し、御社のような会社としての取組みを発信していきたい。

〈議長〉

事業所と連携した取組みが非常に重要だと思う。積極的な情報発信をしてほしい。

4. 加入者の健康づくりに関する協会けんぽ静岡支部の取組状況

資料 4 に基づき、事務局より説明。

〈部会委員〉

昨年度の健康づくり推進部会で健康経営に取り組む事業所について紹介する冊子について説明があったと思うが、今年度は作成しなかったのか。

〈部会委員〉

資料 9 ページ目にある静岡県「健康づくり活動に関する知事褒賞」を今年度受賞した団体を紹介する取組事例集を作成しているため後ほど配付する。

(事務局)

昨年度健康経営優良法人認定事業所を紹介する取組事例集を静岡支部において

作成した。今年度は新たに作成していないため資料に掲載しなかったが、昨年度に作成した取組事例集を健康宣言した事業所へ特典として配付している。

〈部会委員〉

評議員へも配布してほしい。

(事務局)

承知した。

〈部会委員〉

説明を聞いて、きめ細やかにいろいろと努力していることが伝わってきた。取組をより素晴らしいものにするため意見を述べたい。

健康宣言通信は、一度に多くの事業所に配信できる非常に重要なツールであるが、誰が読むのかによって内容を整理するとより効果的になるのではないか。健康づくりに向けて担当者がすべきことと従業員がすべきことは異なる。事業所内での回覧を想定しているのであれば、従業員が何をすれば良いかがわかりやすい内容にしなければ、従業員が見ても「自分には関係ない」という感想を持たれてしまうのではないか。月1回配信しているのであれば、なるべく文字の量を減らすのが良い。内容を詰め込みたい気持ちはわかるが、従業員への教育に使うのであればなおさら、文字を減らして、関心のない人でも読もうと思ってもらえるようにするとよい。

(事務局)

文字数が多いのは反省点である。次年度は読みやすい内容にするよう改善していきたい。